



■ 株主のみなさまへ

第147期 中間報告書

平成26年4月1日から9月30日まで

エンシュウ株式会社

CONTENTS

目次

株主のみなさまへ	2
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする



本社及び高塚工場



浜北工場

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を受け賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当中間連結期間におきましては、米国経済は堅調に推移し、欧州におきましても景気は回復基調に推移いたしました。その一方で中国や東南アジアにおいては軟調に推移いたしました。国内経済におきましては、消費増税の反動が懸念される中、政府の経済政策や円高の是正による輸出の持ち直しにより回復基調をもって推移しました。

このような情勢の中、当社グループは中国やアジア新興国への積極的な生産、販売活動や欧米における販売強化に努めた結果、売上高は前年同期に比べ増加しましたが、損益につきましてはベトナム現地法人の創業赤字等により大幅な減少となり、また当初計画に対しては、売上高・損益共に下回る結果となりました。

連結売上高は、輸送機器関連事業部門が減少したものの、工作機械関連事業部門が増加したことにより15,194百万円(前年同期比3.6%増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は230百万円(前年同期比62.9%減)となり、経常利益は87百万円(前年同期比86.0%減)、四半期純利益は7百万円(前年同期比98.7%減)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、欧米においては引き続き堅調に推移すると思われませんが、中国等のアジア新興国において景気の減速感が見られるなど不透明な状態であり、引き続き今後の動向を注視していく必要があります。また、国内市場におきましては、設備投資において

当社が得意とする自動車設備ライン関連の需要は依然として低い水準で推移しており、今後も先行きが不透明な状態が続くと思われま

す。当社グループといたしましては、工作機械事業部とレーザー加工機などの開発・販売を手掛ける新事業推進本部を統合することにより、それぞれの研究開発および営業部門の力を結集し、新たな市場への本格的な参入とレーザー加工機の更なる拡販をはかり、今後の収益の確保に向け全社一丸となって改善に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第147期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく、その実施を見送らせていただくこといたしました。

平成26年12月



代表取締役社長
土屋隆史

REVIEW OF OPERATIONS 事業の概況

平成26年4月1日から平成26年9月30日に至る当社グループ第147期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

■ 工作機械関連事業部門



▲ハウジング加工ライン

当中間連結期間における工作機械業界(日工会)の受注総額は7,616億円となり前年同期に比べ35%増加いたしました。内需は2,481億円(前年同期比25%増)で、設備投資促進税制の効果もあり増加傾向にあります。外需は5,135億円(前年同期比41%増)で、特に米国製造業の設備投資意欲が高く高水準の状況にあり、ともに前年同期と比べると増加しております。

このような情勢の中、工作機械事業につきましては、主力商品であるシステムラインは、日系企業の国内・海外工場向けの営業を強化し、主な地域としては、中国を中心としたアジア新興国や欧米向けに積極的に販売して

まいりました。また汎用機は、高い需要意欲のある欧米中心に順調に販売台数を増やしております。

光関連事業につきましては、従来通り高出力半導体レーザーを中心に溶接及び焼入れ加工設備の拡販を進めると共に、部品溶接、焼入れの受託加工営業も進めてまいりました。さらに今回新たに純国産のファイバーレーザーを開発し、半導体レーザーではできなかったより細部の溶接や切断などの加工も対応できるように準備を進めてまいりました。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は、9,691百万円前年同期比10.4%増)、営業利益は441百万円(前年同期比17.4%増)となりましたが、当初計画に対しては、売上高の一部が下期にずれこんだことにより、また損益につきましては、個別案件の採算悪化により計画を下回る結果となりました。

このような中、工作機械におきましては、顧客ニーズにマッチした新しい製品とサービスを、そして信頼性の高いシステムとして、国内市場にも力を入れながらグローバル市場へさらに強化していきます。自動車関連産業に限らず、あらゆる市場に対し、海外子会社との連携強化によりグローバルな営業・サービスを提供してまいります。



光関連事業におきましては、新たに開発したファイバーレーザーと半導体レーザーを合わせて、より多くの市場や部品にレーザー加工設備を提案してまいります。そして今回工作機械事業部との統合によりレーザー加工機の更なる売上拡大に努めてまいります。

■ 輸送機器関連事業部門

当中間連結期間におきましては、主力製品であります大型二輪車用、バギー車用エンジン部品及び自動車関連部品の生産量減少及びベトナム向設備売上の剥落により、売上高が前年同期及び当初計画に対して下回ることとなりました。営業損益につきましても、売上高の減少に加え、新規製品の取り入れに係る費用の増加、ベトナム現地法人の創業赤字計上等により営業損失となり、また当期計画を下回る結果となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は5,463百万円(前年同期比6.7%減)、営業損失は238百万円(前年同期は営業利益220百万円)となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、エンジン部品加工の拡大、自動車関連の新規製品の取り入れに取り組むとともに、製造体質の強化を推進し、徹底した原価低減に努め、収益体質の強化を図ってまいります。また、海外製造子会社であるエンシュウベトナムにおいて海外での事業拡大も図ってまいります。



▲新規取入れ自動車用部品加工ライン

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（平成26年9月30日現在）

（単位 百万円）

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流動資産	20,180	流動負債	15,541
現金及び預金	1,721	支払手形及び買掛金	6,230
受取手形及び売掛金	7,931	短期借入金	6,719
商品及び製品	3,305	未払法人税等	65
仕掛品	4,136	賞与引当金	408
原材料及び貯蔵品	1,262	その他	2,117
その他	1,830	固定負債	12,870
貸倒引当金	△8	長期借入金	6,969
固定資産	15,659	退職給付に係る負債	3,406
有形固定資産	14,982	役員退職慰労引当金	15
土地	7,387	資産除去債務	290
その他	7,595	その他	2,189
無形固定資産	249	負債合計	28,412
投資その他の資産	427	●純資産の部●	
その他	511	株主資本	4,752
貸倒引当金	△84	資本金	4,640
資産合計	35,839	資本剰余金	1,230
		利益剰余金	△1,054
		自己株式	△63
		その他の包括利益累計額	2,591
		少数株主持分	83
		純資産合計	7,427
		負債純資産合計	35,839

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨) 自平成26年4月1日
至平成26年9月30日

(単位 百万円)

項目	金額
売上高	15,194
売上原価	13,414
売上総利益	1,779
販売費及び一般管理費	1,549
営業利益	230
営業外収益	61
営業外費用	204
経常利益	87
特別利益	0
特別損失	8
税金等調整前中間純利益	79
法人税、住民税及び事業税	60
法人税等調整額	0
少数株主損益調整前中間純利益	18
少数株主利益	11
中間純利益	7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

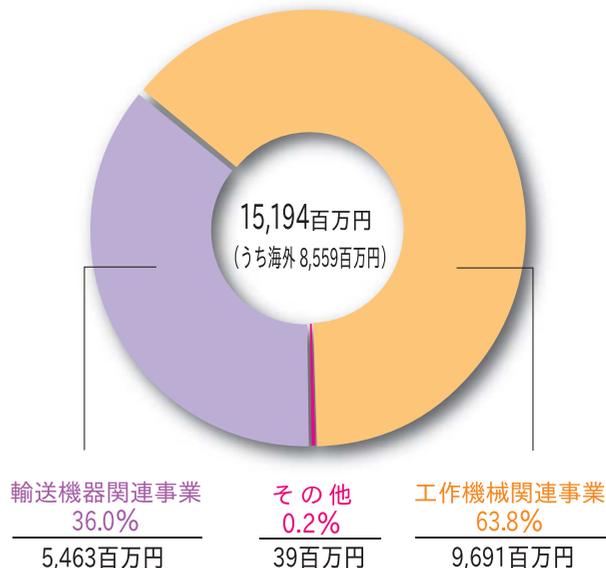
中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自平成26年4月1日
至平成26年9月30日

(単位 百万円)

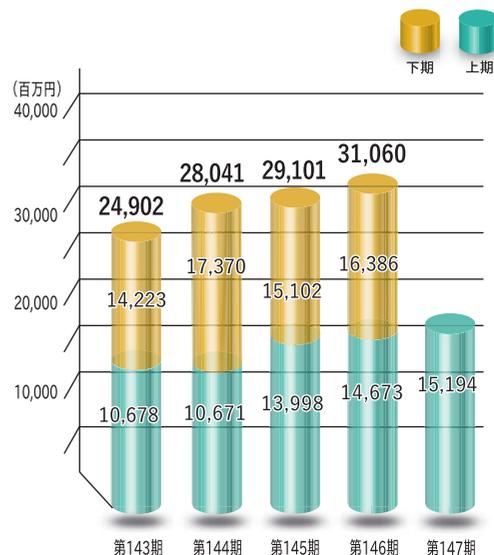
項目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,108
現金及び現金同等物の期首残高	2,829
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,721

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高



売上高の推移





■ 工作機械事業

■ IMTS2014 第30回シカゴショーに出展



2014年9月8日～13日の6日間、アメリカシカゴにて、国際展示会「IMTS2014」が開催され、世界112カ国から2,000社を超える出展があり、入場者数過去最多記録を更新しました。

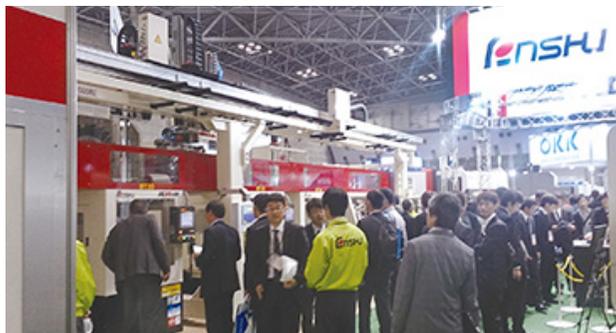
当社からはGE580、JE30sH、GE30Veの3機種を出展し、特に量産部品加工ライン向けに開発したJE30sH、GE30Veは、米国自動車業界を始めとする市場の景気回復が着実に進んでいる中での初披露となり、来場されたお客様から好評を得て多くの引合いを頂くことができました。

■ JIMTOF2014

第27回日本国際工作機械見本市に出展

2014年10月30日～11月4日まで東京ビッグサイトにて「JIMTOF2014」が開催され、当社は、システムインテグレートメーカーとして積み上げてきたノウハウをもって、今回のテーマに「Easy Automation」を掲げ、機械単体の出展のみならず、ガントリーライン・ロボット搬送セル全8機種11台を出展しました。

特に、ハイパワー小型マシニングセンタとして開発したGE15Veは、日本では初披露となりました。また、新機種2機種を出展し、1機種はこれまで培ってきた小型マシニングセンタのノウハウを生かした高速・高剛性・高精度を追求した次世代グローバルマシンである「We30Ve」。もう1機種は当社の量産部品加工ラインでの経験を基に、これまでの機械作りのノウハウと独自の技術により開発したアルミ製ピストン外形加工専用機である「EP-0」。共に来場されたお客様から好評を得ることができました。



■ 光関連事業

■ ファイバーレーザー加工機の出展

2014年4月「Photonix2014 レーザー加工技術展」そして「2014国際ウエルディングショー」の展示会に出展いたしました。4月の展示会では新しいファイバーレーザーの紹介も行い、来場者から好評をいただきました。今年は更に、JIMTOF2014へも出展し、より多くの方にPRすることができました。



■ 輸送機器事業部

■ ENSHU VIETNAM ボディシリンダ生産開始・工作機械プライベートショー開催

2014年7月より、エンシュウベトナム(ハノイ)では、ヤマハ発動機向けピストンに引き続き、ボディシリンダの一貫生産を開始しました。

また、4月に工作機械事業部の販売拠点をおき、ベトナムでの工作機械販売を開始し、9月には工場内で工作機械のプライベートショーを開催いたしました。

今後は、部品加工の海外拠点として、当社の加工ノウハウを活かし、安定した製品の供給体制を構築していくとともに、工作機械事業も展開し、事業の拡大を図ってまいります。



▲ピストン加工ライン

E V N プライベートショー



▲ボディシリンダ加工ライン

STOCK REPORT

株式の状況

■株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株 (自己株式 425,359株を含む)
資本金	4,640,850,000円

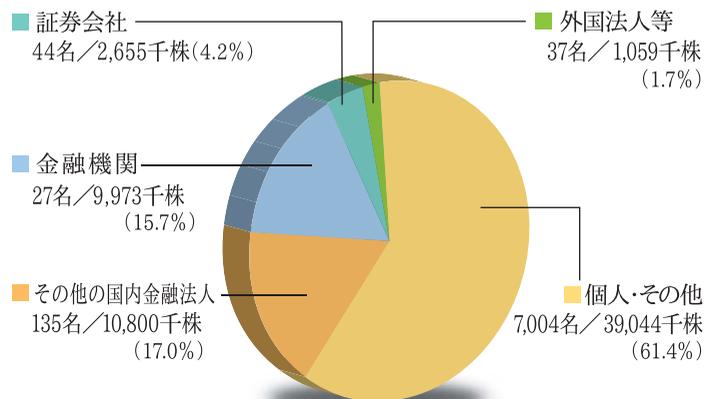
■大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.23%)
エンシュウ取引先持株会	5,531千株 (8.76%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.16%)
株式会社みずほ銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.24%)
西田博崇	995千株 (1.57%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	846千株 (1.34%)
エンシュウ従業員持株会	812千株 (1.28%)
明治安田生命保険相互会社	595千株 (0.94%)

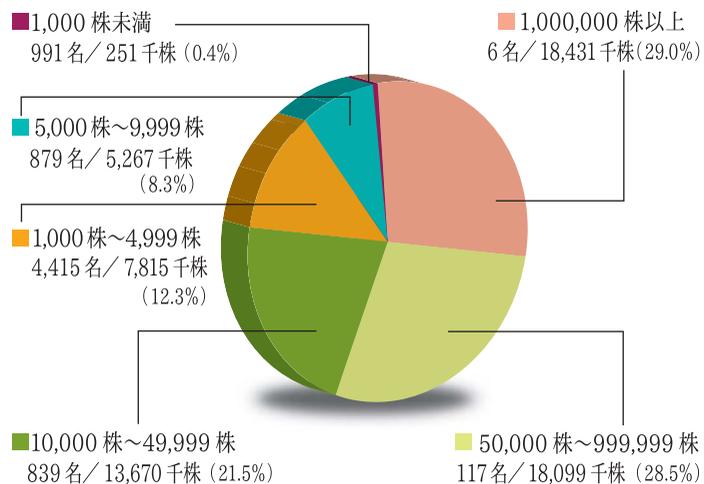
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

■株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 7,247名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 7,247名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商号	エンシュウ株式会社（英文 ENSHU Limited）
設立	大正9年2月5日
資本金	46億4,085万円
発行済株式総数	63,534,546株
株主数	7,247名
従業員数	990名（連結）
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機

■ 事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）
電話03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）
電話06-6338-2471(代)

サービスステーション / 金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU Limited Wuxi Representative Office	(中国・無錫)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ)

■ 役員

(平成26年9月30日現在)

代表取締役社長	土屋隆史
常務取締役	山下晴央
取締役	富田敏弘
取締役	鈴木敦士
取締役	勝井真
取締役	勝倉宏和
社外取締役	岡部比呂男
常勤監査役	中村和夫
常勤監査役	中村泰之
監査役	石塚尚
監査役	嶋津忠彦

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日

(期末配当) 3月31日

(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券は取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式(1～999株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>